

文化情報誌

Passion

・ パッション

特集「あそび」



輝くひと 縁^{えじ}を考える 四日市諏訪太鼓龍雅代表 佐藤 司
FLASH 夢は世界の舞台でトリックをキめる
プロスケーター!! 45歳 藤原 裕子 プロスケーター 佐々木 来夢

誌名の「パッション」は燃えるような“情熱”の意味です。

元気な四日市が好き!!
一般社団法人
四日市市文化協会
YBK

2017
september 61



「31万人元気都市四日市」を目指して

四日市市 市長 森 智広



こんにちは。四日市市長の森智広です。昨年12月24日に四日市市長に就任し、早いもので9カ月が経過しようとしています。

就任以来、「元気都市四日市」を目指した七つの基本方針を掲げて市政運営に取り組んでおりますが、第一の方針である、「子育てするなら四日市」「教育するなら四日市」という都市イメージの構築にも文化振興は重要なものの一つであると考え、積極

的に取り組んでいます。

文化とは、それに関わる人々の人間的深みを醸成するものであると考えています。四日市市では、市民の芸術・文化活動の場として、昨年12月に三浜文化会館の供用を開始しました。この施設は、遮音壁やピアノがあるリハーサル室や練習室、さまざまな創作活動にご利用いただける創作スペース、そして小さなお子様も文化に触れられる場としてのキッズスペースなどを設けています。

開館以来、四日市市文化協会の会員の皆様をはじめ、多くの皆様にご来館いただき、今後ますますご活用いただくとともに、多様な活動を行う者同士が交流し、さまざまな文化に触れる機会を得られる場となり、市民の皆様の芸術・文化活動がより活発になることを期待しています。

また、昨年12月には、富田地区の「鳥出神社の鯨船行事」が全国33件の「山・鉦・屋台行事」の一つとしてユネスコの無形文化遺産に登録されました。他にも市内には獅子舞など、地域の誇りとして長年にわたって継承されている伝統的な文化行事が多数存在しています。こうした伝統文化への支援を含めて、文化都市四日市を目指した取り組みを進めていきたいと思っております。

「31万人元気都市四日市」の実現に向けて、市民の皆様と一緒に汗をかき、『元気もりもり!』 精一杯頑張っていきますので、皆様のご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

Passion



表紙写真 山田町のコスモス畑
写真提供 四日市市

人生の余白を埋めるのもよし、余白のまま愉しむもよし、今号の特集は、無用の用「あそび」をテーマにしました。

Passion

61 2017 sept.

巻頭によせて

「31万人元気都市四日市」を目指して

四日市市 市長 森 智広

特集 あそび

子どもの遊び今昔 — 印地打のこと	西田 青沙 ……………	2
動物とあそび	<small>コマ動物病院</small> 駒田 哲也 ……………	3
絵と遊び	<small>画家・絵の教室 繪々社 代表 あえかき部四日市 部長</small> 佐野 洋平 ……………	4
24年前に「遊び」を「仕事」にしました	<small>株式会社 たまや</small> 安保 尚雅 ……………	5

Sparkling Personality 輝くひと

縁を考える	<small>四日市興訪太鼓 龍雅 代表</small> 佐藤 司さん ……………	6
FLASH 夢は世界の舞台上でトリックをキメる プロスケーター!	<small>ANA 公認プロスケーター</small> 佐々木 来夢さん ……………	8
四日市地域 まちかど博物館めぐり 加藤輪業コレクション	……………	9
訪問レポート 好奇心をくすぐる楽しい場所づくり	おでかけサポートセンター ……………	10
四日市市立図書館のこと 2	……………	11
人生道中膝栗毛 路傍の自然石考 前 — 東海道の夫婦石/妻夫石/妹石 —	吉川 宗明 ……………	12

＜… パッションひろば …＞

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどを紹介します。

文芸ひろば 泗楽連句会 半歌仙「開戦日」の巻 西尾 泰一 捌 ……………	13
平成 28 年度一般社団法人 四日市市文化協会文化活動功労賞 ……………	14
第 3 回 一般社団法人 四日市市文化協会定時総会が開催されました ……………	15
第 67 回 四日市市民芸術文化祭 催事ピックアップ ……………	16
四日市市文化協会後援イベントのご案内 ……………	18
ワンコインシアター朗読劇「人道作家・瀬田栄之助の半生」 <small>四日市地場産物の「郷土作家」 顕彰事業委員会</small> 志水 雅明 ……………	19
短信/リレーエッセイ/理事長のつぶやき/編集後記 ……………	20

四日市市文化協会に関するお問い合わせや、入会のお申し込みは、下記へご連絡ください。

〒 510-0057 四日市市昌栄町 21-10

TEL・FAX 059-351-3729

Eメール

ybk@yokkaichishibunkakyokai.com

開局時間 月曜日から金曜日までの
13時～17時(祝祭日は除く)

ホームページ

四日市市文化協会 🔍 検索



子どもの遊び 今昔

いんじうち
— 印地打のこと

泗楽会代表世話人
西田 青沙



印地打というのをご存知だろうか。平安時代には既にあった子どもたちの遊びで、初めは印をつけた石を的に小石を投げていたらしいが、その後、河原などで子どもたちが二手に別れて小石を投合うようになった。石合戦である。多く端午の節句に行われたので俳句で夏の季語とされている。「八犬伝」の曲亭馬琴が編んだ歳時記『葉草』にも五月の項に出る。河や池での水切りもそのバリエーションの一つらしい。

昔、四日市の北部に松ヶ浦という広い浜があった、そこでこの印地打が行われた。その浜には俳人山口誓子が戦中戦後の足掛け六年、病痾を養うために暮らしたことがあったが、その『激浪』という句集に「富田と一色の子等相争ふ」と前書し「暑をきざしいまもむかしの印地打 誓子」と記されている。誓子が暮らした家は、松林の南のはずれの、その半分、いやほとんど全体が浜の方へはみ出した、平屋の、下見板の黒く塗られた古い家だった。誓子はその窓からでも見ていたのだろう。

富田と一色の子供たちはお互いをガイツマはガイトと呼び合った。漢字で書けば「外奴」とでも表せようか。つまり敵同士なのである。富田と一色はすぐ隣合っていたから普段に顔を合わせても良さそうなものだが、互いに避け合っていたのか町の中ではそういう機会はありませんでした。相手方に捕まって酷

い目に遭わされた、そんな話を聞いたこともあったが、実際はまず無かったのだと思う。浜で行き遇つても、多勢に無勢の場合は無勢の方がおとなしく引き下がる。それを多勢の方が追いかけてまでどうしようということとはなかった。それがたまたま、四五人以上の、同じぐらいの勢力の集団が遭遇すると句のごとくなる。

子供たちは渚の石を拾って来て互いに投げ合う。山なりに投げてようやく届くぐらいの間隔をおいて相対峙しているから、石が飛んできて易々と避けられ、余程うっかりして飛んでくる石から目を逸らさない限り、当って怪我をすることはない。中にはわざと危ういところで石を避け、相手に向けて尻を叩いて見せる剽軽者もいた。そうして気の済むまで石を投げ合い、草臥れると、口汚く罵り合って鉾を収める。

誠に野蛮で危険極まりない行為だが、弘文堂『日本風俗史事典（一九九三）』の石合戦の解説には「…もとは原始以来の戦争の形式であったと考えられるが、それが弓・矢・鉄砲などを使用することが多くなつて、遊戯の一つとなつたと考えたい（芳賀登）」とある。

三重県連句協会 会長
四日市郷土作家研究会「泗楽会」
代表世話人

動物とあそび

コマ動物病院

駒田 哲也

我が家には盲導犬を引退したレトリバーをはじめ、犬3頭、猫6匹が居る。どれもこれもわけありで我が家に来ることになった仔ばかりだ。それ以外にも、地域猫（保護猫）を短期・長期で預かるヴォランティアもしている。ほんの小さな仔猫のこともあれば、成猫のこともある。因みに、この文章を書いている時点で、2歳の猫2匹と6週令の仔猫2匹を預かっている。

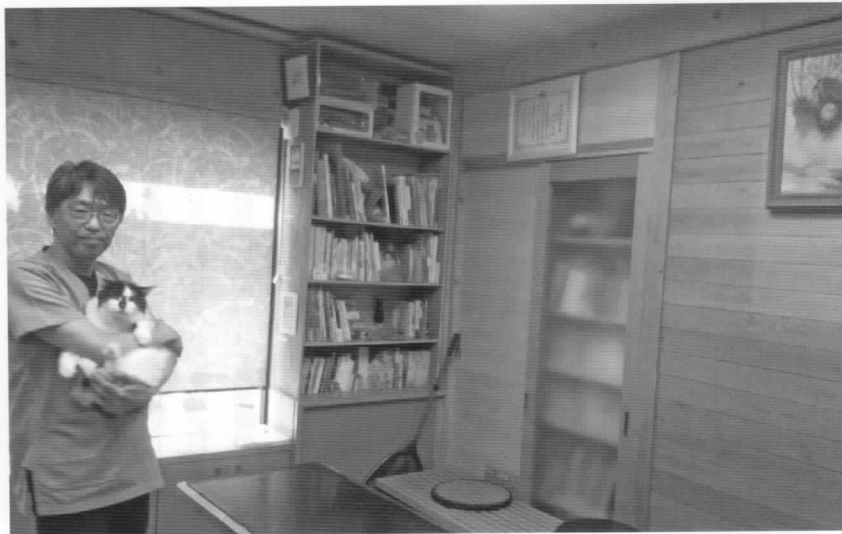
成猫もそうだが、特に仔猫を預かるのは本当に楽しい。彼等の遊びと云えば、まさしく狩りの練習だ。

隠れ、待ち伏せ、飛び掛かり、獲物に爪や歯を立てる。手で遊ばせようものなら手はあつという間に傷だらけになるし、こちらに遊ぶ気がなくても、勝手にズボンに爪を立ててよじ登って来る。そして脛も太腿も傷だらけにされてしまう。

一方犬は社会的な動物なので、遊びを通して



併設の「猫町文庫」。ワンちゃん猫ちゃんのいるカフェです



コマ動物病院の診察室

て犬（または人間）社会との関係を認識する。兄妹で遊んでいるうちに順位が確立する。そして人間と遊ぶことによって、自分を人間社会の一員と認識し、人間と関わることに喜びを見出すようになる。

盲導犬はその習性を上手く利用して訓練される。クイールを育てた訓練士である和多田氏の著書によると、訓練は犬にとってゲーム（遊び）で、そのゲームをいかに上手にクリアして訓練士に褒めてもらうかということが喜びなのだそう。盲導犬になって以降も、信頼できるユーザーと共にゲームをし、結果役立つことに喜びを見出す。

時々、盲導犬を「遊ばせてももらえず仕事をさせられて可哀そう」と評する人がいるが、それは全くの間違いなのだ。

この世知辛い世の中でなかなか叶うことではないけれど、我々の仕事（生活）も遊びと一体化したものであって欲しい。そんなことを考えながら今日も仕事と称して犬猫と遊んで癒されている。

略歴

獣医師。1990年、中川原にて動物病院を開院。盲導犬引退ボランティア、地域活動などにも注力。

絵と遊び



2015年に開校の絵の教室の様子

くすくす
画家・絵の教室 楠々社 代表
おえかき部四日市 部長

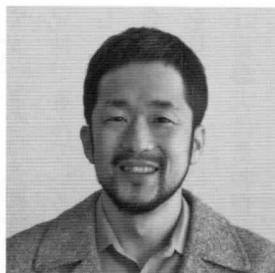
佐野 洋平

好きなことをして遊んでもいいよという自由時間に、私はよく絵を描きました。絵のために自由に使ってもいい紙とペンが保育園にあり、次から次へといろんなものを描いていました。家では兄弟が多く、何かと制限が多くなる環境で暮らしていたこともあり、無制限に好きなものを描ける、絵を描く自由に喜びを感じたのだと思います。そのようにして遊びの時間から始まった絵ですが、現在でも絵を描き続けています。

絵はただ楽しいだけでなく、感性や思考、観察力や表現力を養い、また、そのイメージを描き出す行いは、未来を描く力を育みます。そして、優れた作品は人々に新しい価値観や豊かな暮らしへのヒントをも示してくれます。そうした絵から得られる価値のある大切なものを、自分なりに人々に伝え、人々が絵や美術に触れる機会が少しでも増えるよう活動しています。

しかし近年、中学校や高校などの学校現場では、美術の授業を非常勤などの講師だけでまかない、美術の先生がいつもは学校にいないというところも増えているようで、美術に消極的な方向であることがとても残念です。

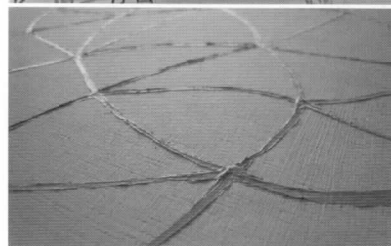
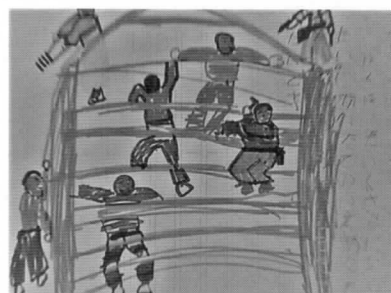
この問題の原因のひとつとして、「勉強する」「や」「仕事をする」という言葉の対義語として、「遊ぶ」という言葉が使われることがあるからではないかと考えます。私に限ったことではなく、小さい頃は誰でも絵を描いて



略歴

画家。1979年四日市生まれ。金沢美術工芸大学卒業（油画専攻）。2015年、四日市に絵の教室 楠々社開校。2017年の今年、雑誌「モダンリビング」にてイラストを担当。9月、東京にて個展。

遊ぶものであり、多くの人の中に絵や美術イコール「遊び」という意識があるのだと思います。絵や美術と遊びには、共通する大切さがあるはずですが。しかし、「遊び」を勉強や仕事をするこの反対の言葉として使っているうちに、いつの間にか、その大切さを忘れてしまいう人が増えたのではないのでしょうか。絵や美術、遊びへの理解がある社会を目指して、絵を描く活動を今後も続けていきたいと思っています。



上：絵を描く喜びを覚えた筆者保育園児の頃の絵
下：個展に向けて制作中の作品「線の呼吸」



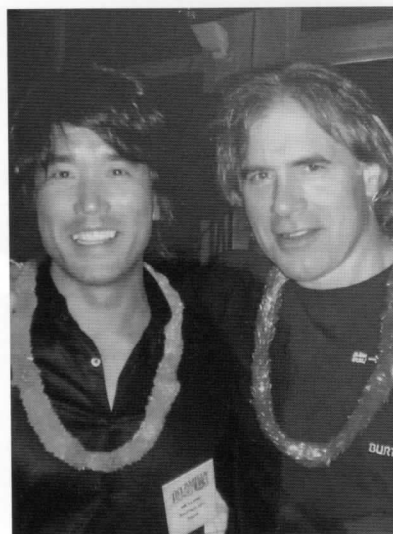
買い付けの旅で。南米チリでスノーボード

24年前に「遊び」を「仕事」にしました

株式会社たまや
安部 尚雅

時々「あぼさん、好きなことを仕事にして人生楽しいでしょ」と言われることがある。確かにそう思うこともある……しかし実は……。

24年前にサラリーマンを辞め、当時夢中になっていたスノーボードの世界で生きて行く



若かりし頃。「バートン」創業者と

うと決めた。そこに夢と自分の成長を感じたからだ。しかし当時は英語もできなければ、コネもゼロ。大好きな海外ブランドの買い付け権利を得るため、会社員時代の給料を使い果たし、海を渡ってどこにでも出向いた。

時はスノーボードバブル。ただただ我武者羅に自分が好きな物を好きな人に伝えていたら、仕入れた商品が右から左へ全て売れた。しかし、こんなに商売が上手くいくはずがないと恐怖心がいつもあった。

次にスノーボードと関連性の高い洋服を海外から直接買い付ける「個人輸入」のようなこともやった。ちょうど空前のストリートファッションブームがやって来た。しかし、これもすぐにブームは終わると疑っていた。

1人で始めたスノーボードショップは、気づけば従業員が30人を超え、アパレル店5店舗、ボードにアウトドア、フィギュアショップなど多角経営する小売り集団になっていた。そして今。実はスノーボードに行くのが

時々嫌になる。アウトドア用品のことを知人から質問されると気分が良くない。休みの日にファッション誌を見ることはまずない。好きで好きで、四六時中考えていると時々逃げ出したくなる。

自分が今日まで生き残った理由は三つあると思う。一つ目は小心者で怖がりだということ。二つ目は結局自分がやりたかったことは、自分が好きなものを人に伝え、沢山の笑顔を見たかったということ。つまり「自分が好き」だけで完結しなかったこと。(↑ここ重要)最後に「お陰様」の気持ちを忘れなかったこと。

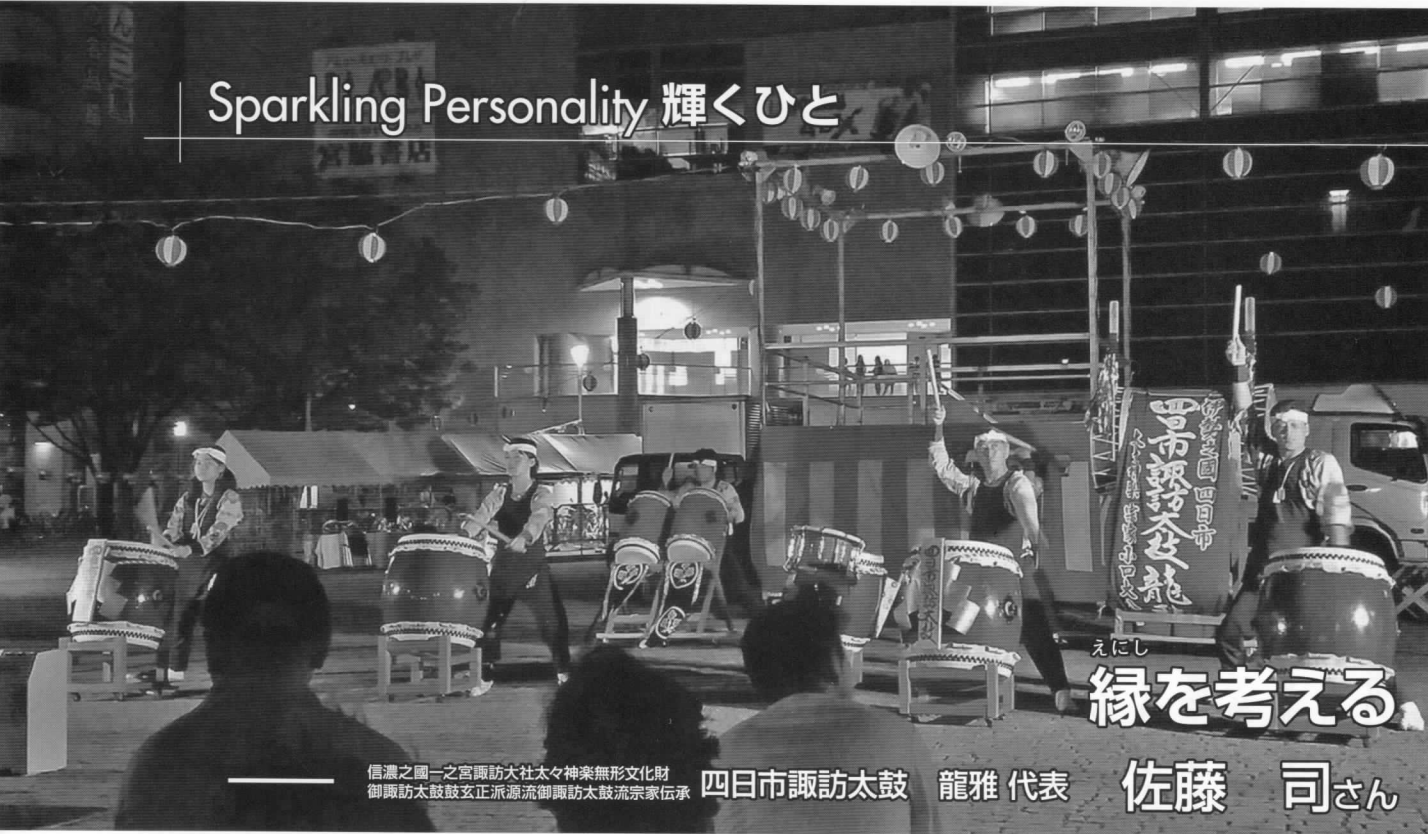
これからも次世代の為、地元四日市に拘って事業をやっていくことは変わらないだろうが、何歳まで仕事ができるか不安でしょうがない。知人には「あぼさん、死ぬときがピークってカッコイイじゃないですか」と言われた。まだ腑に落ちてはいないが、社長を辞める時まで挑戦を続けられるよう、心技体のバランスを整えていきたい。



略歴

1993年、スノーボード黎明期にいち早く専門店を四日市にオープン。新鮮な商材と極上の雪を求め、ヨーロッパ、アメリカから南半球まで巡った。現在は若者の文化をリードする8店舗を展開する(株)たまや代表取締役社長。四日市四郷高出身、49歳。

Sparkling Personality 輝くひと



えにし
縁を考える

信濃之國一之宮諏訪大社太々神楽無形文化財
御諏訪太鼓鼓玄正派源流御諏訪太鼓流宗家伝承

四日市諏訪太鼓 龍雅 代表 佐藤 司さん

和太鼓、それは決して自ら望んで始めた事ではありませんでした。

和太鼓に出会ったのは今から半世紀前のこと

四日市諏訪太鼓の経緯を簡単にお話ししておきます。

昭和35年と36年、2年に亘り長野県岡谷市の御諏訪太鼓保存会三代目会長であった小口大八氏及び保存会メンバーを四日市市へお招きして、本町にある善光寺の場所をお借りして指導を受けたのが現在の四日市諏訪太鼓の始まりで、当時の県会議員であった後藤藤太郎氏が子どもにも諏訪太鼓を打たせてやりたいとの思いから四日市市内の企業から寄付金を募り、子ども達にと手を挙げた自治会に三分の二の補助を頂いたことから昭和42年に子どもの打ち手が生まれました。

私が暮らしていた諏訪町もそのひとつで、半ば強制的に太鼓に触れた事がきっかけでした。

中部東小学校在学中（現在の中央小学校）は放課後の校庭にて各町ごとに順番で指導を受けたものです。子ども会も多かったので指導時間2

3時間の内個別団体の実技指導は10〜15分位だったと記憶しています。非常に厳しい先生で最初は嫌々でしたが、一曲覚えると楽しくなり、その後は演奏できる楽曲が一曲ずつ増えていきました。

和太鼓に魅かれて

現在、私はメンバーと共に御諏訪太鼓の一門として信州信濃の諏訪太社太神楽である御諏訪太鼓鼓曲を奏でています。

太鼓はバチと言われる二本の棒を持ち、そのバチで太鼓の皮を打つことが出来れば誰でも簡単に音が出ます。ひとりで打つ分には何らの問題はありません。

然し、複数で打つとなると状況は少し難しくなります。オーケストラと違って太鼓にはタクトを振ってくれる指揮者がいませんし、曲打ちをするためには点打ちを常に重ねなければなりません。言わば体内時計の調整が打ち手全員に求められる訳です。その上で曲は打点から打点の間（マ）や打点の強弱、アクセント、無音の打点等々で構成され且つ魅せる振付けが加味され出来上がっています。

ます。バチの当て方ひとつで生まれる音はとても繊細なもので、簡単に始められるけれど非常に奥が深く、きつと何年続けても行きつくところはないと私自身感じています。だからこそその練習、練磨があつて、観て頂く皆様に届くものだと実感してます。

伊勢志摩サミット2016の開催告知と歓迎

一昨年三重県でG7が決定した

ことで、私も役員をさせていただいてる日本太鼓財団三重県支部に於いて、その開催告知を盛り上げようという事を役員会で決定し、県内の有志団体を含む全31団体の協力と演奏場所を提供頂きました事業者様の協力の下、盛り上げ隊を発足し県内19ヶ所で開催歓迎の横断幕を掲げ、各団体が県内各地で太鼓パフォーマンスを披露。最終公演となった伊勢安土桃山文化村のイベントでは17団体240人による勇壮な合同演奏を行いました。伊勢志摩サミット告知だけでなく、伝統芸能の普及活動に寄与もできましたこと、そして何よりも降雨等で中止することなく事前に決めた日程通りに完遂出来た事は感慨深いものがあります。

郷土四日市への想ひ

四日市は「みんなが誇りを持てるまち、四日市」を目指してとか「観光立地を目指す」と言われていますが、公式行事に使える屋内外の施設や秀でた観光名所がある訳でもなく、そのための努力をしているとも感じられません。私はスポーツや文化等に手厚いところほど活力のある町であ



北アルプス奉納太鼓にて御諏訪太鼓会長と音楽家喜多郎さん

り、人々の生活が豊かだと思つていますが、正直なところ和太鼓打ちにとって四日市の公共施設或いは公共の場ほど使い勝手の悪いところではありません。

先の伊勢志摩サミット2016の開催告知も各市町でやらせていただきましたが、残念なことに四日市市からは許可を頂くことはできませんでした。

昨年やっと条件付きではあるものの「カルチュール三浜」がオープンして喜んでいるところですが、太鼓打ちにとってまだまだハードルの高い町です。

太鼓を学ぶ意義

太鼓は単に演奏する道具という事だけでは無く、スポーツ系文化だと私は考えていて、かねがね、太鼓を通して「礼節」「道徳」を重んじ、「思いやる心」「洞察力」「思考力」「発信力」というものを培ってほしいと願っています。

最後に、私は太鼓に出会い、たくさんの方々とも出会う事が出来ました。これまで色々な機会も与えて頂きましたし、きつとこれからも「そしてメンバーにも「ありがとう」を。

佐藤 司
(さとうつかさ)

四日市にあって長野県諏訪大社の神楽太鼓伝承・本家御諏訪太鼓の一派の四日市諏訪太鼓龍雅代表。(一社)四日市市文化協会理事・日本太鼓財団三重県支部理事兼事務局長。太鼓は打ち手が楽しんでこそ、ご覧いただく皆様に良さが届くものと信じて練習、練磨を重ね、いろんな場所やイベントを通して文化の担い手として幅広く活動。



伊勢志摩サミット盛り上げ隊

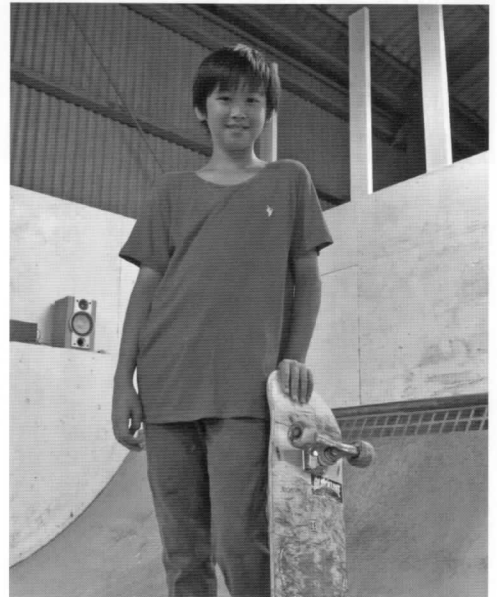
FLASH

夢は世界の舞台で トリックをキメる プロスケーター！

AJSA (一般社団法人日本
スケートボード協会)

公認プロスケーター

佐々木 来夢さん



乗ってもいいよ」と言われたのが、
つい4日前。今はスケボーを滑るこ
とが、めっちゃ嬉しいです。もっと
いっぱい滑りたいです。

将来の夢をお聞かせください。ス
ケボーが正式競技に採用された、
東京オリンピック出場ですか？

オリンピック出場までには、時間
が足りないと感じるようになりま
した。だからもうすぐし後、18歳く
らいになった頃に、海外で活躍して
いるプロスケーターになりたい
です。世界中の大会を回るようなブ
レーヤーに！

練習場のテレビモニターには、外
国人プロの映像が。「わあすごい」あ
の技カッコいいなあ」とキラキラし
た眼差しで見入っていました。何年
か先には、テレビに映る側に？
四日市生まれの若きプロに、乞う
ご期待です。

(レポート 中村智恵子)

プロ戦に出場して1年経ちまし
た。手応えはいかがでしたか？

だと思っていないです。大会に出て、
こんなトリックを決めたい。もっ
と上に勝ち進みたい。そう思った
時から遊びじゃなくなりました。

やはり上手い人がいっぱいいて、
その中で上位を狙うのは難しいなあ
と思いました。アマチュアの頃は中
部地区ランキング1位、大会では優
勝したこともありすが……、やっ
ぱりプロの世界は違うなあ。

一人で難しいトリックを繰り返し
練習するのは、辛いなあって思いま
す。楽しいのは、友達と一緒にスケ
ボーを滑っている時。でも、たくさ
ん練習したトリックが大会でキマッ
た時は、友達と滑っている時以上に
嬉しいです。

今号は「遊び」がテーマです。来
夢さんにとってスケボーは、元々
遊びだったのでしょか？

小学2年でスケボーを始めて、最
初の半年ぐらいは遊び感覚で滑って
いたかも。でも今はスケボーを遊び

……、練習前に家でゲームして遊
ぶこともありますよ(笑)。この春、
練習中に左足首を骨折して2ヶ月間
安静と言われました。「スケボーに

アマチュアとの違いは？

年に一度のアマチュア全国大会で
ベスト8まで進むと、プロスケー
ターに登録できます。プロになる
と、賞金が懸かった大会に出場す
ることが出来ます。大会の持ち時間
は、ひとり1分。その中で難易度の
高いトリック(技)を次々に成功さ
せて予選から本戦、決勝へと勝ち上
がります。

四日市市山中中学校に通う13歳。
小学6年生でスケートボードのプロ
になり、現在は学業の傍ら全国へ遠
征してプロ戦に挑んでいます。



スバル 450 の後方に萬古焼の棚が見える

約40年で集めた萬古焼きの数々

加藤輪業は、国道1号線の東側、海蔵川の近くにある。終戦後の昭和21年自転車屋さんからスタート、36年頃からスバル自動車の販売、修理を手掛けるようになった。

本職が自動車業でもあり、まず目にするのは黒く塗装され直した昭和40年式の「スバル450」である。ラビット・スカレットやモンキーなどのスクーターやミニバイクなども置いてある。しかし、それらより「加藤輪業コレクション」が誇るものは、萬古焼きの数々

である。ラビット・スカレットやモンキーなどのスクーターやミニバイクなども置いてある。しかし、それらより「加藤輪業コレクション」が誇るものは、萬古焼きの数々

四日市地域 まちかど博物館めぐり

加藤輪業 コレクション

である。専用の棚は、特注して作ってもらい、一つ一つの陶器には作者名がわかるように展示されている。整然と陳列されたそれを数えてみると、150ほど。加藤さんの話では、陳列されていないものも含めると600にもなることか。昭和50年頃から集めたこの数は、すぐ近くにあるばんこの里会館にあるものより多いという。

さらに驚くのは、加藤さんご自身の萬古焼きに関する知識だ。ばんこの里会館前身である「萬古陶芸センター」で伝統工芸師を育成する講座に通い、自身も萬古焼き



作者名がわかるように展示された萬古焼の品々

を作るようになった。家にはガス釜と灯油釜があった。筆者は、萬古焼きのことを知らなかったので教えてもらったが、釜によって色の付き方が違うのだそう。そして気温、湿度など季節によってもできあがり方が違うという。他にも色々教えてもらったが、加藤さんの知識もばんこの里会館に比肩しているようだ。

使うことでさらに奥深く

コレクターと呼ばれる人は皆そ



堀友直の作品

うなのだろうか。加藤さんが好きで買ったものは、色や形が個性的なものが多い。茶碗など、均一な円形ではなく、焼き付けも変化がある。これらを、日々角度を変えて眺めるのが楽しいのだそう。

陳列された急須で、とても使いにくそうな形のもがあった。「展示するだけだから、いいんですね?」と聞くと、「いやいや、どうやって使うかと考えるのが楽しい」のだそう。使っているうちに、年季が入ってくると言うベキか。それも萬古焼きの味わいを深めるひとつなのだ。

四日市萬古焼きの父と言われる山中忠左衛門、それに次いで影響を与えた堀友直の作品もあった。

(レポート 石井亨)

四日市市浜一色町3-8
電話 059-331-3361
日曜・祝日休館 10~19時

本町通り商店街で毎月26日に実施されている「ボランティアアストリート」、これを運営する「NPO法人UDほっとねっと」おでかけサポートセンター」の伊藤さんを訪ね、活動の目的を聞いた。

「商店街って、お買い物をしてくれる人は誰でもが大切なおお客様でしょ？ 高齢の方や障がいがある方が大切にされて、楽しい場所ができたらいいなと思っています。難しく言うところには、ユニバーサルデザインのまちづくりの実践だそうだ。」



商店街に点在するイス

好奇心をくすぐる 楽しい場所づくり

おでかけサポートセンター

たしかに、「昭和歌謡ショー」や、各店舗から出される試食、そしてちよつとした出店もあり、高齢者ではなくても楽しい。いくらバリアフリーになっていても、楽しくなければ出かける気にはならないし、反対に高齢者や障がい者がたくさん来れば、どんな街がバリアフリーになっていく、というのが伊藤さんの持論だ。

伊藤さんには気がかりなことが有るといふ。今年1月に奥様を亡くされた実のお父様の事だ。

「父が、『俺は思いのほかケチ



毎月26日の昭和歌謡ショーの様子

なようだ、欲しいものが無い」と言うんです。」

もしかすると、お父様が様々なことへの好奇心を無くしているのが原因ではないかと伊藤さんは心配している。人は好奇心を満たすために、誰かに会い、旅行に行き、物を買ひ、高いお金を払って食事をする。確かにこれらの好奇心が失せていくと、お金を使う気も失せてしまうのかもしれない。財布のひもが緩む楽しい場所こそが、人を元気にすると伊藤さんは思っている。ここ本町通り商店街では、福祉と物欲が不思議と融合



お客様のためにどんどん大きくなる取っ手

「好奇心があればこの先も様々な事を乗り越えていけると思うので、自分ももっと好奇心を育てておきたいんですね」と伊藤さんは笑った。この先何をするのだろうか、これからの伊藤さんに好奇心がわいてきた。実は私もこの26日の本町通り商店街ボランティアアストリートを楽しんでいるひとりである。この日しか出ていないお店や相談コーナー、試食など楽しいコーナーがたくさんある。

ひと月に一日だけの、楽しい居場所になりつつある。

(レポート 森次男)

昭和四十八年、四日市市久保田に現在の市立図書館が建てられた。当時のことを坂倉加代子さんに聞いた。坂倉さんは図書館がオープン後、児童室の司書として六年間勤めた。

当時の建設委員会では、「新しい図書館は、貸出中心の、市民のための図書館にしよう」としっかりと議論されたという。その中で最も重要視したのが「児童室」。「子ども」を中心にしたコンセプトを掲げ、南側の日当たりのいい場所に児童室を置き、おはなしの部屋「かまくら」をつくった。カウンターには司書が必ず二人。読み継がれてきたロングセラーは確実に



児童室で親子が絵本を楽しむ

置くなど、蔵書は徹底的に厳しく選んだ。子どもたちがわくわくするような居場所や隠れ家がある館の中にあつた。画期的なことだと各地からたびたび取材があつたそうだ。

図書館のある意味

今でこそ多くの催しが企画されているが、諏訪公園内にあつたそれまでの図書館では、催しなどはなかつたらしい。なぜ図書館がそんなことまでしないとイケないのかななどの批判もあつたそうだが、

四日市市立図書館のこと 2

訪問レポート

本と人をつなげるためには催しも必要だと、坂倉さんたち職員は、熱意を持って貫いた。

憲法第二十五条に「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とある。食べるものや健康と同等のものとして「文化」が必要で、その中心の役割を担うのが図書館だと思う、と坂倉さんは語る。

「図書館は何のためにあるのか。蔵書は吟味されているか。一人一人に本が届くようになっていくか。一人一人に届けるために、自動車文庫や学校図書館、地区市民センターの図書室と連携した、市としての全体像が見えているか。図書館に来た人が、ああ来てよかったなと思えるかどうか。図書館の新しい役割とともにもう一度、原点に戻って考えなければならぬのでは。」

楽しむという気持ち

児童室の司書として働いていた当時のことを坂倉さんは、幸せだったわ、と言いながら楽しそうに話す。

「この前私が借りた本を探して」と子どもに言われて、その子と一緒に探し出したこと。安房直子の本をカウンターまで持ってきた子に「嬉しい！私の好きな本」とふと言ったら、その一言が心に残り、その子は本を読むのが好きになったと、二〇年後に知ったことなど。図書館が好きで楽しくて幸せで、という溢れ出す感情が伝わってきた。

四日市市において、新しい図書館をつくらうとする計画「中心市街地拠点施設整備基本計画」の策定が進められている今、もう一度原点に立ち戻り、司書が楽しくてわくわくするこういう気持ち、実は根本的に大切なことなのかなと気づく。(レポート 伊藤美香)



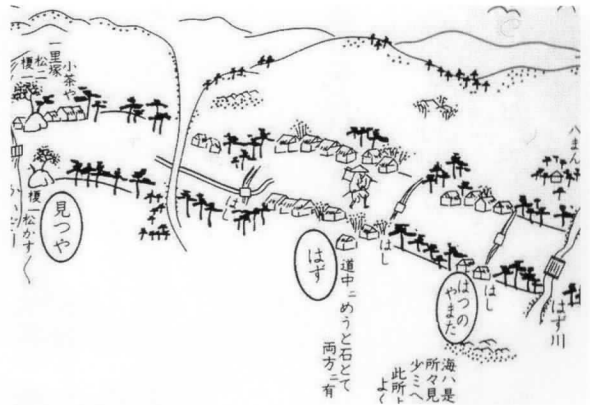
当時のカウンター（昭和48年頃）

路傍の自然石考 前

— 東海道の夫婦石／妻夫石／妹石 — 吉川 宗明



雌（東海道東側）



「東海道分間絵図」翻刻

妹石（へみといし）

かつて東海道は伊勢への参宮者の往来が多く、東海道に面した志氏神社（第一鳥居の辺りに道を隔てて西側にも大きな石がありこの二つの石は「妹石（へみといし）」と呼ばれています。志氏神社には「イザナギイザナミ」という夫婦の神様が祀られており縁結び・夫婦円満のご神徳があります。そのことから古書にも「婦女の婚姻を求むる祈願を乞ふ」と記述があり古来より、東海道を歩き交う多くの旅人は、この夫婦「妹石」をみて縁結び・夫婦円満の願いを込めました。

大宮町 志氏神社

現地看板より

志氏神社（四日市市大宮町一四番地六）の一の鳥居は東海道に面しており、そこに二体の石がある。現地看板には「妹石」と書かれ、

写真のとおり由緒を伝える。

この石に関する最古の記録は、元禄三年（一六九〇年）に刊行された「東海道分間絵図」で、絵図中に「道中にめうと石とて両方に有」と注記されている。ここでは「めうと石」と読まれており看板とは異なる。

道其外分間見取延絵図』では、志氏神社の一の鳥居付近に二体の石が描かれ、道の西側を「妻夫石雄」、道の東側を「妻夫石雌」と

注記している。

また、写真にある「古書」とは、天保四年（一八三三年）に刊行された伊勢国の地誌『勢陽五鈴遺響』を指すと思われる。ここではさらに具体的な来歴が記される。

此神社ノ地ハ本郡三重郡ノ界ニシテ鳥居ノ傍ニ二個ノ標石ヲ置テ二郡ノ界トス方俗此二石ヲ指テ夫婦石ト名ク婦女ノ婚ヲ求ルノ祈願ヲ此二ナス必応アリト俗習也

志氏神社は朝明郡と三重郡の境にあり、二個の石を置いたことで境界を示したのだという。そして

これを夫婦石と呼び、婦女が婚姻を求める時はこの石に祈願すれば必ず霊験があつた旨が紹介されている。

さらに、『志氏神社縁記』という文献には「鳥居側有神石。南北厲盤根固而不知其深。自古稱之曰夫婦石。」と、また別の情報が登場する。『志氏神社縁記』は、作者も制作年代も不詳であり、明治時代よりは古く、江戸時代をさらに遡るかは不明である。ここでは鳥居の側に神石があり、その根は深さ知れず、古くより夫婦石と呼ばれていると記されている。

（続く）

参考文献

- 四日市市編・発行「四日市市史 第六巻 史料編絵図（解説）」一九九二年
- 安岡親毅著・倉田正邦校訂「三重県郷土資料叢書第25集 勢陽五鈴遺響（1）」三重県郷土資料刊行会 一九七五年著者・年代不明
- 「志氏神社縁記」（神道大系編纂会編・西川順土校注「神道大系 神社編14 伊賀・伊勢・志摩国」一九七九年に所収）

略歴

1983年生まれ。立命館大学文学部日本史学専攻考古学コース卒業。日本宗教民俗学会会員。「石神・磐座・磐境・奇岩・巨石と呼ばれるものの研究」
http://megalithmury.blogspot.jp/

パッションひろば

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば

平成 28 年度一般社団法人 四日市市文化協会文化活動功労賞

第 3 回 一般社団法人 四日市市文化協会定時総会が開催されました

第 67 回 四日市市民芸術文化祭 催事ピックアップ

四日市市文化協会後援イベントのご案内

ワンコインシアター朗読劇「人道作家・瀬田栄之助の半生」

文芸ひろば

酒楽連句会

半歌仙「開戦日」の巻

西尾 泰一 捌

日本海寒風すさぶ開戦日

岡本 耕史

浜の太鼓の響く凍雲

西田 青沙

家中で炬燵を囲み和やかに

西尾 泰一

悪戯猫が柱ひつつかく

瀬野 喜代

灯消し中天の月暫し視る

沙

秋の裕の似合ふ年頃

史

ウ つましくも糸瓜の水を分け合ひて

代

打ち明けずにはゐられない恋

、

親同士決めた相手がありながら

沙

突如音たて歩道陥没

一

平穏な暮らしを目指す民の列

史

ほのと塩味うまき乾パン

代

三川の流れ豊かに月涼し

史

門前町の夜店賑はふ

一

旧交を温める座の大吟醸

史

これそれぞれで話通じる

一

一村で守る名木花万朶

沙

行く手遙かに霞む熊野路

史

平成二十七年十二月十日首尾
於四日市市文化会館

昨年のみえ県民文化祭連句大会で最優秀賞をいただいた作品です。

本来は「歌仙」といって三十六句で一つの作品なのですが、大会の規定でその前半分の「半歌仙」に直したものです。一読、決ったストーリーもなく、何処が面白いのだろうと不思議がられる方も多しと思えます。筆者も実作を経験するまではそうでした。

上の作品の五七五を長句、七七を短句といいますが、それを交互に詠み継いで連句は進行します。その中の適当な三句を取出したものを三句の渡りといい、その真ん中の句と前の句で一つの世界を、真ん中の句と後の句とでは、それと全く別の世界を描くように作ります。これを付けと転じといつてその変化の鮮やかさが一つの見所です。寺田寅彦はその随筆で、この運びを映画のモニタージュにたとえました。

今では、連句は、大方の皆さんには随分縁遠いものになってしまった感がありますが、実はそうではないのです。皆さんが普段使っていらつしやる言葉の中にも連句用語があります。例えば「誰々に花を持たせる」というときの「花」は最後の句の前の花の句のことです。これを「匂いの花」といい、かつて貴人や来賓に詠んで貰うのを慣例としていたのこんな言回しが生れたのです。

一度連句会を覗いてやろうかと思われる方は何時でも大歓迎です。☎〇五九一三三三二一八九三二西田迄ご連絡下さい。(解説西田青沙)

平成29年5月20日

平成28年度

一般社団法人 四日市市文化協会文化活動功労賞

一般社団法人四日市市文化協会
会員顕彰内規に基づき、平成28
年度の文化活動功労賞を受賞された
皆さんをご紹介します。



前列左より西川氏、田中氏、樋口氏、廣瀬氏

樋口 仁(ひぐち ひとし) 四日市川柳会 (文芸部門)

柳歴は38年に及び、現在も四日市川柳会主幹として川柳文学の興隆普及に尽力している。当地域のみならず、各地の川柳大会の審査委員として招聘を受け、各団体との交流および後進の指導に活躍している。受賞歴は川上三太郎賞、四日市短詩型文学祭市長賞他多数。

西川 司女菊(にしかわ しめぎく) 日舞連盟 つかさ会 (舞踊I部門)

昭和47年10月「第1回司女菊会」を開催以来、舞踊会13回を主催。23歳で名取、師範になって以来弛まず日本舞踊の普及に努めると共に「日本舞踊まつり」への参加に尽力している。現在、西川流(名古屋)相談役、三重支部長。

田中 岳心(たなか がくしん) 三重岳仁会 (地域文化部門)

昭和31年7月16歳で日本詩吟学院三重岳仁会へ入門、今村岳仁に師事。昭和54年師範、平成2年正師範、平成23年上席師範位を取得、吟道の研さんと普及に努め数多くの吟友を輩出している。三重県吟剣詩舞道連盟理事、常任理事を歴任。

廣瀬 修(ひろせ おさむ) あさけプラザ文化団体 (地域文化部門)

20歳過ぎから写真を始め、1963年日本報道写真連盟入会、64～66年日本報道写真連盟四日市支部長、67年全日本写真連盟個人入会、67年から北真クラブ会長。また長年にわたりあさけプラザ文化団体の役員として会の運営に携り、現在経理担当責任者。

第3回 一般社団法人 四日市市文化協会 定時総会が開催されました



挨拶する森市長

四日市が好き!!というキャッチフレーズに、私も「元気もりもりの森です」と応えて会場の笑いを誘っていました。

事業報告、会計報告に続き、平成29年度の事業計画が提案されました。

去る5月20日(土)、第3回一般社団法人四日市市文化協会の定時総会が四日市市文化会館第3ホールで開催されました。森四日市市長はじめ、四日市市民文化部前田部長、桑名市文化協会会長荒木さまほか多数の来賓にお越しいただきました。市長のご挨拶では、私たち文化協会が永年掲げている「元氣な

- ① 所属団体が活発な文化活動の推進が出来るよう応援します。
- ② 市民と一緒に、より充実した市民芸術文化祭の開催を目指します。
- ③ 将来を担う子どもたちに文化的、芸術的体験ができる機会を積極的に作ります。

などの提案を行い満場一致で可決承認されました。そのほか、平成29年度予算、定款の一部変更なども提案され可決されました。

今年度は役員二年任期の二年目にあたり、変更はなく、引き続き現役員が担当いたします。ただ、運営委員は選出部門の都合で一部入れ替えがありました。

定時総会の詳細をお知りになりたい方は文化協会事務局までお越しただければ、総会資料をご覧いただけます。

※印新任

部門運営委員

1. 文芸	高橋 忠*	16. 趣味教養	山本 洲江*
2. 美術	太田 進	17. 文化交流	瀬川 純江
3. 邦楽	辻 芳翠	18. 地域文化	服部 了
	杉本千壽子		石田 清子
4. 能楽	山家多喜男	19. 子ども文化	北野なほみ
5. 合唱	若尾 典子	20. コラボ	井上 尚子*
	桐生 美恵	21. 個人	中西まさ子
6. 洋楽	服部 剛		
7. 演劇	南城 仁香		
8. 舞踊Ⅰ	内田 茂雅		
9. 舞踊Ⅱ	山口日出子		
10. 舞踊Ⅲ	今村りつ子		
11. 洋舞	石井 亨		
12. 芸能	近藤 幸子		
13. 茶道	中野由美子*		
14. 華道	辻 澄甫*		
15. 生活文化	森下 紀正		

役員

理事長	西川 保歳
副理事長	芝田 尚輝
//	本多 芳昭
常務理事	白井 良昭
//	伊藤 洋史
常任理事	西田 青沙
//	宇佐美幸義
理事	前田 義文
//	花井 高峰
//	笹原 久子
//	森 次男
//	熊本 梨里
//	佐藤 司
//	広瀬 修
//	鈴木 亜樹
監事	山路 泰洲
//	時田 勝義



第11回 四日市洋舞フェスティバル

97年に第1回の公演が行われ、それ以来二年に一度のペースで開催されてきた四日市洋舞フェスティバルは今回で11回目となります。当初から出演し続ける5団体に、今回新しくC.J.G Ballet Studioを加え、より一層豪華な舞台になると思われます。

20年経ちますが、チケットの値段は当初からの千円のまま。お客様が気軽にクラシックバレエとモダンダンスを楽しめるようにと努力し続けてきました。

今はバレエやダンスをする人が増え、発表会やコンクールが増えましたが、複数の団体が一度に出る公演はなかなかありません。今までのファンはもちろん、まだ見たことがないという方も是非この機会に足をお運びください。

と き 平成29年10月9日(月・祝)
開場 17時 **開演** 17時30分 **終演** 20時
ところ 四日市市文化会館第1ホール
入場料 1,000円
お問い合わせ
TEL : 059-354-1269 (石井)
メール : ishii-t@mx4.mesh.ne.jp

文化祭 催事ピックアップ



第67回 日本舞踊まつり

「日本舞踊まつり」は四日市市が主催する文化祭が始められると同時に開催されるようになりました。歴史は受け継がれ今年も8流派9社中の全17番の演目が子どもからプロまでの踊り手により華麗に、優雅にそして楽しく邦楽の音色と共に舞台を務めます。

舞台一面に敷き詰められた所作台の響きや照明、大道具など舞台の変化は文化祭ではありますが工夫を凝らしてお楽しみいただけます。伝統を受け継ぐ所作は美しいものです。是非、ご高覧下さいますようお願い申し上げます。

※プレゼントチケット応募方法
 はがきに住所、氏名、希望枚数(四枚まで)をご記入の上
 510-0057 四日市市昌栄町21-10
 四日市市文化協会事務局まで

と き 平成29年10月9日(月・祝)
開場 12時30分 **開演** 13時
終演 16時予定
ところ 四日市市文化会館第2ホール
入場料 500円(プレゼントチケットあります。)
お問い合わせ
TEL : 059-337-3457 (西川)
メール : eriko5302@yahoo.co.jp

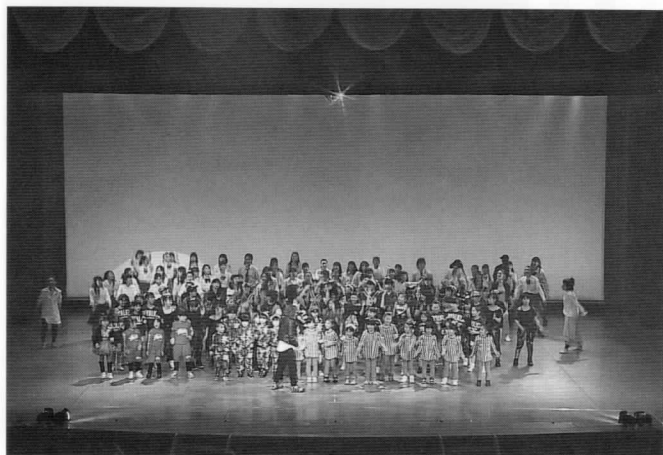
第 67 回 四日市市民芸術文化祭 キッズ・ドリーム・コンサート
〈2018年2月25日(日) 四日市市文化会館 第1ホール〉に参加したい子どもたちを
一般公募します。(今年で17回目です!)

～楽しい歌とやさしい振付で本物の舞台体験ができます。オーディションはありません～

- ♪募集人数：幼稚園年長から小学生 100名募集
- ♪参加費：無 料。入場券販売にご協力をお願いします。(6,000円以上)
- ♪内 容：第1部…「みんながみんな英雄」「ミッキーマウス マーチ&ディスコ」ほか
第2部…ミュージカルのオープニングとエンディングに出演
- ♪説明会：11月18日(土)16時～17時 または 19日(日)10時～11時 ★保護者の出席が必要です。
- ♪練習日：12月2日(土)から毎週土曜 14時～15時に本番まで10回練習
- ♪練習場所：高角練習場(高角町2645【高角駅より徒歩1分】)後半は日永小学校

- 申し込み：キッズ・ドリーム・コンサート事務局 白井 良昭(しらい よしあき) へ
TEL/FAX：059-322-6722 (携帯電話：090-9938-5249) メール：yje4rai@m6.cty-net.ne.jp
1 参加者名 2 学校・園名と学年 3 電話番号 4 郵便が届く住所
5 説明会出席希望[11月18日(土)16時または19日(日)10時] をお知らせください。

第 67 回 四日市市民芸術



Autumn Collaboration (オータムコラボレーション)

平成29年度四日市市民芸術祭(芸能+コラボフェスティバル)“Autumn Collaboration”(オータムコラボレーション)は11月5日(日)四日市市文化会館第一ホールにて。P m 12:00 開場、P m 12:30 分開演で出演団体はYYフラグループ・新ペアーレ四日市・シテイスports四日市・ユニットiの4団体では、5歳～80代までの幅広い年齢層の出演者や生バンドによるフラダンス、弾けて踊るキッズダンスと、多種多様なダンスをお見せいたします。

このコラボフェスティバルは観に来てくださるお客様も小さいお子様から高齢者の方まで幅広い年齢層で盛り上がるのが特徴です。
是非!たくさんの皆様にご来場いただけるとうれしいです。

と き 平成29年11月5日(日)
開場12時 開演12時30分
と ころ 四日市市文化会館第1ホール
入場料 無料(要整理券)
お問い合わせ
TEL:090-2347-1884(鈴木)

一般社団法人四日市市文化協会 後援事業

本号発行から次号までの間の催事をご案内します。催事については各問い合わせ先におたずね下さい。

パブリックビューイング

四日市市制施行120周年記念

四日市交響楽団創立40周年記念特別演奏会

「大好き♥オーケストラ！」

日時 10月1日(日)
会場 四日市市文化会館 第1ホール
主催 四日市交響楽団
入場料 全席自由 500円
後援 四日市市 四日市市教育委員会
(公財)四日市市文化まちづくり財団 中日新聞社
問い合わせ ☎ 059-355-7925 前嶋 寿々子

結成35周年記念コンサート Time Travel

日時 10月8日(日)
会場 第一楽器コンサートホール ムーシケ
主催 Chor. アンサンブル・サルビア
入場料 前売・当日共 大人 800円
後援 四日市市 四日市市教育委員会
問い合わせ ☎ 090-1417-1524 若尾 典子

こんな「ヴォーチェ」はいかが？

秋のミニコンサート in ムーシケ

日時 11月18日(土)
会場 第一楽器コンサートホール ムーシケ
主催 混声合唱団ヴォーチェ
入場料 前売・当日共 大人 500円
後援 四日市市 四日市市教育委員会 三重県合唱連盟
中日新聞社 (株)シー・ティー・ワイ
問い合わせ ☎ 059-346-1584 市川 美智子

うたのわ大音楽会

日時 12月3日(日)
会場 四日市市文化会館 第1ホール
主催 三重混声合唱団あんだあれ70
入場料 前売・当日共 自由席 1,500円
指定席 2,000円(未就学児無料)
問い合わせ ☎ 059-393-4461 平井 晴弘

琴伝流大正琴 ウィンターコンサート

日時 12月23日(土)
会場 四日市市文化会館 第2ホール
主催 琴伝流大正琴 四日市支部
入場料 無料
後援 (公益社団法人)大正琴協会 琴伝流大正琴全国普及会 (有)日本バイオリン研究会
問い合わせ ☎ 059-332-7565 清野 請子

第63回 石井アカデミー・ド・バレエ 発表会

日時 1月28日(日)
会場 四日市市文化会館 第1ホール
主催 石井アカデミー・ド・バレエ
入場料 無料(要整理券)
後援 四日市市 中日新聞社
問い合わせ ☎ 059-354-1269 石井 亨

3月15日以降の四日市市文化協会後援事業の予定がありましたら、この誌面にて告知を掲載しますので事務局までご連絡ください。

四日市市文化協会様 御用達 パネル用 “紙看板”
フルカラーインクジェット大判プリント

840x1600mm 4,320円～ ☎ (059)353-3885

耐久クロス地、ターポリン地 他取扱い

企業のイメージアップサポーター

株式会社 紺文デザイン

〒510-0075 四日市市安島2-4-14

http://www.konbun-d.com

E-Mail info@konbun-d.com

平成29年11月12日

ワンコインシアター

朗読劇「人道作家・瀬田栄之助の半生」

四日市地域ゆかりの「郷土作家」顕彰事業委員会会長 志水 雅明



瀬田栄之助 近影

そして今秋11月12日の、見出しのような行事の成功に向けて現在、練習に取り組んでいます。時あたかも今年には市制120周年、四日市公害訴訟判決45周年の記念の年でもあり、出演者らの練習には一層、熱が入っています。

皆さんは、四日市出身の大学教授・作家瀬田栄之助(1916〜71)をご存知ですか？

瀬田は戦時下に通訳、戦後は大学教授・作家として活躍し、晩年は癌闘病しながら昭和46年2月、54歳の若さで病没します。

現四日市高校出身の彼の活躍を今一度広く知ってもらおうと、一昨年は朗読「戦争と文学・四日市」で、更に瀬田生誕100年にあたる昨年は年間4回にわたる公開読書会「人道作家・瀬田栄之助を読む、聴く」で、瀬田の生き様、戦争観等を学んできました。

朗読劇は、「瀬田」語り部が戦中・戦後の自らの体験を通して、戦争観、人種差別、公害問題などを語り、その合間に、瀬田が紙誌に発表した手記・日記・短篇などを「瀬田A・B・C」朗読者」3人が朗読して相乗効果を創出しながら舞台を進め、いわゆる「瀬田ワールド」の展開を目指します。

ところで、スマホの普及に伴って読書人口は勿論、雑誌・図書販売が激減している昨今、「聴く読書」は負担になるかも知れませんが、朗読劇から得た情報は恐らくは、皆さんの想像力を刺激し、戦

中・戦後の四日市での知られざる出来事や風俗風習の画像が浮かび上がるものと思います。

とにかく戦時中、四日市には外国人俘虜収容所があり、そこで通訳を務めていた瀬田が戦後発表した手記には、戦時下にも関わらず収容所内でベルリオーズ「幻想交響曲」、シューベルト「野薔薇」等が俘虜たちによって生演奏されたことや、戦後には瀬田自らの発意によって収容所内で他界した俘虜たちの慰霊碑建立、除幕式が挙げられたこと等が今、皆さんの前に明かされます。



「朗読劇」練習風景(左から南城氏、伊藤氏、小野田氏、山根氏)

空襲直後の市街地、市役所、鶴の森公園等を舞台に若い男女が旧体制を打ち破って新しい時代へと歩み出す姿が描かれます。「祈りの季節」は現在では稀観雑誌の『近畿春秋』創刊号に掲載発表されたもので、市民の殆どが見たことも読んだこともない作品ですが、今回初めて、全編を朗読によって紹介します。

またコンビナート群による繁栄の影の部分、つまり、煤煙等による大気汚染のため絶滅していく植物に代って公害を告発したり、「風流夢譚」事件によって引き起こした右翼テロから逃避する、『植山節考』の著者・深沢七郎を匿ったりと、言論・思想の自由擁護、人権擁護の観点から多面にわたって活躍した瀬田栄之助。

晩年には病床で大著『スペイン文化とスペイン語の研究』を脱稿し「イサベル女王勲章」授与が決定された吉報を耳にして逝った瀬田の世界に浸ってみませんか？

短信

光敬資料の貸出しに迷う

拙著『夭折の月光詩人・東光敬一生涯と作品』を上梓したのが平成16年12月。出版当時に関係先機関として、東光敬(1913-46)の出身校、龍谷大学にも1冊謹呈したのであったが、それを12年以上も経って手にした龍谷ミュージアムの学芸員和田氏が今年4月以来度々連絡をくれて遂に、5月25日早朝より、我家にやってきた。用件は、ミュージアムで来年、東光敬関係の展示会を予定しており、その前に光敬資料の事前調査に伺ったとのことで、約1日がかりの調査であった。

光敬は龍谷大学卒業後、日本で唯一の仏教児童博物館で主事を務めるかたわら、日曜学校での童話口演、同人誌発行などに携わりながら多くの童話作品の発表、宮沢賢治及びアララギ派歌人土田耕平研究の第1号として活躍したが、戦時中の物資統制のために多くの作品は単行本化されないまま、戦後に夭折。

その光敬資料の約9割を所蔵する私は今、郷土四日市より先行して、京都へ貸し出ししているのかどうかと迷っている。

(志水雅明)



「遊び」というと、一般的にはあまり良い意味には取られない。例えば遊興をするとか、何もしないでぶらぶらしているとか…。

岩波の『古語辞典』の「遊び」の解説に、『日常的な生活から別の世界に身心を解放し、その中で熱中もしくは陶醉すること。宗教的な諸行事・狩猟・酒宴・音楽・遊樂などについて広範囲に用いる』とし、その例として、神遊び、すなわち神楽を演じるや音楽を奏し歌を歌う、などをまず挙げてある。この、「遊び」にこそ私たちのいう文化の萌芽があるように思う。

日本の文芸、それも詩歌の始まり

遊 び 西田 青沙

は「歌垣」だという。これは上代に行われた、異性に歌を唄いかけて求婚するならわしのことだが、現代でも中国南方の山岳地帯の少数民族に行われているらしい。着飾った若い男女が一列横隊に向かい、求愛の歌を唄ってダンスをする。今はもう見かけなくなった子どもたちの遊びで「花いちもんめ」というのがあった。あれがごく素朴な形での「歌垣」の名残ではないかと思う。

そこで唄われた歌謡が口伝てに受継がれて「古事記」や「日本書紀」に採録される。また『万葉集』の素朴な東歌などの原型になったのかも知れない。その源から流れ出た豊かな水が私たちの日本という沃野を潤し、今日の短詩型文学の隆盛をもたらした。私たち日本人は本来すべてのひとが詩人なのである。

理事長つばやき

西川 保歳

2017年、市制施行120周年、おめでとうございます。「120年の絆、これからもずっとこの街で」四日市」と先頃も大四日市まつりでは盛り沢山なイベントが行われ、参加された方、見て楽しまれた方たくさんいらした事でしょう。和太鼓・キッズダンス・民謡踊りなど当協会に所属しておられる団体の皆さんも大いに盛り上げて下さいました。

また67回文化祭の下半期の催し物をはじめ、「第5回キッズ伝統文化体験教室」の受講生募集や「四日市市三浜文化会館」(カルチュラル三浜)開館周年記念行事 ― こともとおとなのアーTomつりー と多くの行事を会員の皆様のご協力を頂きながら迎えます。

いつも文化の種を蒔き、花を咲かせ市民の皆様豊かな、心ある時を提供できる団体でありたいと願ってやみません。

編集後記

●懸命に真面目に仕事をすることはもちろん大事ですが、遊んでリフレッシュすることも、同じくらい大切だと思うようになりました。「遊ぶ」というのは明るく生きるための元なのでしょね。

(伊藤美香)

●パッションの編集委員は、それぞれ本業を持つ方ばかり。皆さん仕事の合間を縫って作っています。熱を帯びた企画会議に、何度でも検証する編集作業。執筆者への敬慕に満ちた校正作業。合間には知の好奇心が刺激される「よもやま話」が飛び出し……。こんな尊い時間は、仕事じゃ創出不可能かも!!

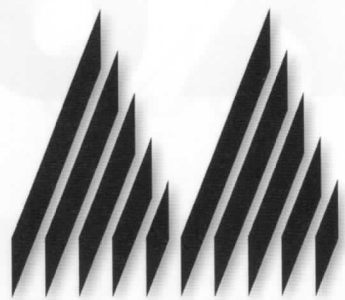
大変な遊びを知ってしまいました。

(中村智恵子)

パッション 61号

- 発行 平成29年9月15日
- 発行人 西川 保歳
- 編集 パッション編集部
森 次男(編集長)
石井 亨・伊藤 順子・伊藤 美香
中村 智恵子・久安 典之・吉川 秀道
西田 青沙(オブザーバー)
- 発行所 一般社団法人四日市市文化協会
〒510-0057 四日市市昌栄町 21-10
TEL・FAX 059-351-3729
- デザイン・レイアウト 高田 敦
- 印刷所 水九印刷株式会社

水 九印刷は印刷事業を軸にデザイン企画、
WEB制作、デジタルサイネージ(電子看板)、AR(拡張現実)、
物流までお客様のあらゆるニーズにお応えしております。



MIZUKU

地域と共に140年。

創業1875年(明治8年)を経て私達は常に革新し続けます。

あなたの想いを
カタチに実現する



 **水九印刷株式会社**

〒510-0013 三重県四日市市富士町1-147

TEL.059-332-6600 FAX.059-332-6688

E-mail admin@mizuku.co.jp www.mizuku.co.jp



み
や
び
の

お
楽
し
み
膳

竹姫弁当: 1,620円 (本体価格1,500円)

しゃぶしゃぶと日本料理



四日市みやび

四日市シティホテル 2階

〒510-0086 四日市市諏訪栄町7-28



ご予約承ります

Tel.059-351-3600

ランチ/11:00~15:00(オーダーストップ14:00)

ディナー/平日:17:00~22:00(オーダーストップ21:00)

日曜:ディナー休業

*写真はイメージです。*料理内容は季節により異なる場合がございます。
*価格はすべて消費税込みです。

近鉄四日市駅北口より徒歩2分

HAKUYO

会議・催事ホール 施設ご利用案内

A 面積：43㎡(13坪) 定員：20人
会議・研修・展示会にご利用になれます

B 面積：36㎡(11坪) 定員：12人
展示スペースとしてご利用になれます

詳しくはお電話でお問合せ下さい

TEL. 059-353-7370 FAX. 059-353-7365



シエトワ白揚 文具館

四日市市安島2丁目4-9 TEL 059-355-8577
<http://cheztoi-bungukan.com/>